

この子たちはいま笑顔だけれども…

戦争や災害によって、くらしが大きく変わってしまった人たちがいます。
 この女の子たちも、戦争が始まるまではみんなと同じように学校に通っていました。
 ところが戦争が始まり、毎日の生活が一気に変わってしまいました。
 住んでいた町をはなれ、知っている人や友だちがいない、
 別の国へ逃げなければならませんでした。



©MRCS



©IFRC

こうした人が笑顔になるために

赤十字は
 「いのちと健康・尊厳を守る」
 活動をしています

- けがや病気の人を手当てる
- 食べものや生活に必要なものをとどける
- 心が落ち着ける場所や時間をつくる
- はなればなれの家族が連絡できるようにする

平和な世界をつくるため 笑顔を守り、ふやすためにできること

みんなの学校・クラスは平和かな？

まわりの人を笑顔にするために
 できることを考えてみよう

- 周りにこまっている人がいたら、どう声をかける？
- 友だちが何かしてくれたら、どんな言葉をかける？
- 自分とちがう考えの人の話を、どのように聞く？
- いじわるしている人を見かけたら、
 どうするのがいいと思う？

自分だったら何ができる？

日本でも地震で家がなくなったり、大切な人を失ったり…
 同じ状況になることがあるよね。
 苦しい状況になったとき、自分だったら何ができる？



みんなのできることを考えて
 行動してみよう！

あなたの思いやりある行動が笑顔をつやすす力になります

指導者の
 皆様へ

世界の同年代の子どもたちの現状を知り、赤十字の活動や身近な生活へと視点を広げながら、人道について考えるポスターです。周囲への思いやりや、やさしさをもった日常の小さな実践が笑顔を守り、増やし、平和への一歩につながることを考える機会として、本紙を授業や平和学習にぜひご活用ください。

本紙のデータ・
 活用例はこちら

